

2022年度 日本工学院専門学校											
電子・電気科／電気工事コース											
電気法令											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	若林 恵美			実務経験	無	職種	電子・電気科 専任教員				
担当教員紹介											
日本工学院専門学校で教員として16年教育に携わる。電気系の保有資格は第二種電気工事士。											
授業概要											
電気法令を学習することにより、日本や世界の電気や建設に関する法規制を理解し実践する。電気法令内容を理解することにより、技術的な高度な理解と関係する国家資格を取得することにより、その総合力を備えたリーダーとしての基盤の基礎固めとする。そして、電気工事業界に貢献できる人材の育成を図ることを目的とする。											
到達目標											
この科目では、国家資格である第二種電気工事士の資格認定に向けた電気工事に関する法令の理解度の向上を到達目標とする。電気工事における法令は安全放棄を基本としこれを遵守しなければならない。基本法である「電気事業法・電気工事士法・電気用品安全法電気工事業法」基礎的な部分から現場対応が必要な安全法規に対応できなければならない。法令順守が全ての基本であり基礎知識として習得しなければならない。最終的な到達目標は国家免許の認定取得に向けた電気工事士としての知識の習得を確固たるものとする事です。											
授業方法											
電気授業法、電気工事士法、電気工事業法、電気用品安全法、建設業法、労働安全衛生法、労働基準法の流れで授業を進めていく。各授業ごとに教科書に基づいたサブ資料を配布する。毎回の授業の区切りでショートテストを実施し、各学生の理解を深める。学生が積極的に受講できるアクティブラーニングの手法を工夫して導入し、実践していく。											
成績評価方法											
試験・課題 50% 中間試験、期末試験の結果を評価する 小テスト 10% 各授業ごとにショートテスト実施し、学生の理解度の確認と評価をする レポート 10% 必要がある場合に実施する 成果発表表（口頭・実技）20% 積極的に発表する学生は、その内容によって評価する 平常点 10% 欠席せず、遅刻せず、まじめに授業を受講する学生には、評価する											
履修上の注意											
授業中の私語をしている学生には注意をする。遅刻する生徒や欠席の多い生徒には、出席が75%以下の場合は、単位が取れない旨を理解してもらう。一人の学生でも居眠りをしないような必要性和魅力ある授業になるように努める。また、理解が進まない学生には、資料を配布して理解をするように努める。											
教科書教材											
電気関係法規 改定3版（雇用問題研究会）											
回数	授業計画										
第1回	電気法規の内容を説明し、必要性を理解する										
第2回	電気事業法の概要、電気工作物の種類を理解する										
第3回	一般用電気工作物、自家用電気工作物の範囲と規制を理解する										
第4回	電気工事士法の概要、目的等を理解する										
第5回	電気工事士の作業の範囲、義務と罰則等を理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
電子・電気科／電気工事コース	
電気法令	
第6回	電気工事士法の概要、目的等を理解する
第7回	電気工事の登録制度、業務規制等を理解する
第8回	電気用品安全法の概要、目的等を理解する
第9回	電気用品安全法の種類を理解する
第10回	電気設備技術基準の概要を理解する
第11回	電気設備技術基準の構成、電気工作物に関する共通事項を理解する
第12回	電線路、電気使用場所を理解する
第13回	建設業法の概要、目的等を理解する
第14回	労働安全衛生その他関係法令の概要、目的等を理解する
第15回	総復習とまとめを実施する